

【オリコンサルグローバルら ミャンマー 地方の貧困削減Ⅱ 3社JVで受注】

ミャンマー 地方の貧困削減Ⅱ

オリコンサル グローバルら 3社JVで受注

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、八千代エンジニヤリング、パシフィックコンサルタンツとの3社JVでミャンマー連邦共和国建設省から「貧困削減地方開発事業（フェーズⅡ）」を受注した。有償資金協力で契約額は日本円で4億4743万8797円。2015年3月に開始された同フェーズⅠに続いての受注となる。

ミャンマーでは、旧首都ヤンゴンを始め都市部の大規模インフラ開発に公共投資の重点を置いてきた。このため地方部のインフラ整備が遅れ、国内の州・地域間における貧困格差の要員となっていた。今回の事業ではこうした貧困格差を解消し、近郊のとれた国家開発を達成するため、包括的な地域開発事業とし



8月29日、首都ネピドーでミャンマー国建設省のU・Han・Zaw大臣立ち会いのもと、行われた契約調印式

て、地方部の社会経済開発に資する道路・橋梁、電力、給水といった生活基盤インフラの新設・改修・設置などを行う。

オリエンタルコンサルタンツグローバルでは、同国建設省に対し、地方部の道路インフラ事業の設計支援、入札補助、施工監理業務を担当。同省の人材育成や技術移転にも貢献していく。